

A) 令和 6 年(2024 年)2 月 房総半島の非定常地殻変動

大綱 2 中項目(2) 小項目①

出典 2024 年 3 月 15 日 国土地理院 発表

房総半島の電子基準点観測データに、2024 年2月 26 日頃から、通常とは異なる地殻変動(非定常地殻変動)が検出されています。これまでに検出された非定常地殻変動は大きいところで約2cm です。

この変動は、房総半島沖のフィリピン海プレートと陸側のプレートの境界面で発生している「ゆっくりすべり(スロースリップ)現象」によるものと推定されます。

3月6日までのデータを用いた非定常地殻変動からプレート境界面上のすべりを計算したところ、房総半島沖で最大約 12cm のすべりが推定されました。

今回得られた解析結果はあくまでも暫定的なものであり、今後のデータの蓄積、精査により、情報が更新される可能性があります。

国土地理院では、引き続き、この非定常地殻変動を注意深く監視していくこととしています。

